

製品安全データシート

作成日 2008年 1月21日

改訂日(第4版) 2010年10月16日

1. 製品及び会社情報

製 品 名 : シロアリジェットプロ
カダン白アリジェットプロ

会 社 情 報 : 会社名 フマキラー株式会社
住所 広島県廿日市市梅原1-11-13
担当部門 品質保証室
電話番号 0829-55-3438
FAX番号 0829-55-2432

2. 組成、成分情報

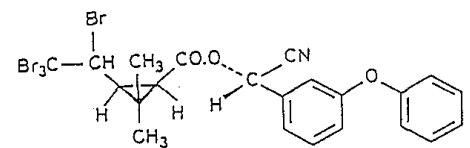
単一製品・混合物の区別：混合物

一 般 名 : シロアリなどの不快害虫用殺虫エアゾール(容量は450mL)

成 分 含有量 別 名 化 学 特 性

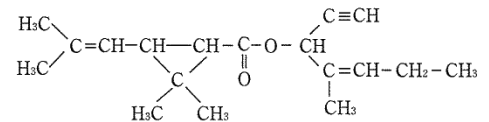
トラロメトリン25% (トラロメトリンを含有する殺虫原体)

トラロメトリン 1%以下
(α -シアノ-3-フェノキシベンジル
1R, 3S) -2, 2-ジメチル-3-
(1, 2, 2, 2-テトラフルオロエチル)
シクロプロパノンカルボキシレート



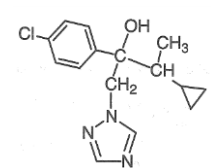
溶 剤 1%以下

エムペントリン 1%以下
(EZ)-(±)1-エチニル-2-ヘンテニル
(±)-シストランス-グリサンテマート



シプロコナゾール 1%以下

(2RS, 3RS; 2RS, 3SR)-2-(4-クロロフェニル)-
3-シクロプロピル-1-(1H-1, 2, 4-トリアゾール-
イル)ブタン-2-オール



エタノール 45~55%

エチルアルコール

C₂H₅OH

液化石油ガス 45~55%

L P G

成 分

官報公示整理番号
(化審法・安衛法)

C A S No.

化学物質管理促進法
指定化学物質労働安全衛生法
57条の2第1項通知対象物

トラロメトリン25%

トラロメトリン 3-3892 66841-25-6 1種 第139号 対象外

溶 剤 非公開 非公開 対象外 対象外

エムペントリン 3-3675 54406-48-3 対象外 対象外

シプロコナゾール 5-6266 94361-06-5 対象外 対象外

エタノール 2-202 64-17-5 対象外 政令番号第61号

液化石油ガス 9-1697 68476-85-7 対象外 対象外

危 険 有 害 成 分 : 液化石油ガス

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性：

：引火性

有害性

：本剤は眼、皮膚への刺激性がある。液化ガスが皮膚に触れると炎症や凍傷を起こす。

環境影響：魚毒性があるので、河川などに入らないよう注意する。

物理的及び化学的危険性：引火性のガスおよび液体含んでおり、空気との爆発性混合物を形成しやすい。

高温の場所で保管すると容器が破裂し、着火源があれば引火爆発する。

分類の名称(分類基準は日本方式)：高圧ガス、引火性液体

4. 応急措置

吸入した場合：多量の時は速やかに新鮮な空気の場所に連れて行き、深呼吸をさせる。状況に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：すみやかに石鹼で洗い、水で洗い流す。痛みがある場合は、医師の診察を受ける

目に入った場合：直ちに流水で十分に洗眼し、眼科医の手当を受ける。

飲み込んだ場合：ただちに医師の診断を受ける。石油系溶剤を含んでおり、吐き出させると気道内に入って化学性肺炎を起こす可能性があるため吐かせてはいけない。

5. 火災時の措置

一般的な措置として、速やかに必要な個所に連絡し応援を求める。

消火剤：泡、二酸化炭素、粉末、ハロゲン化物を放射する消火器

火災時の特定危険有害性：

1. 薬剤が燃焼すると有毒なガスが発生するので、人を避難させること。
2. 魚毒性が高いので、河川への流入に注意すること。
3. エアゾール缶が加熱されると、爆発して缶が飛散するので注意する。

特定の消火方法：1. 消火活動は必ず風上から行い、空気を遮断する方法で消火する。

2. 周囲のエアゾール缶の加熱を防止するため、散水して冷却する。

消火を行う者の保護：消火活動の際は必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：液化ガスが皮膚に触れると炎症や凍傷を起こすので、注意すること。

精製灯油を含んでいるので、接触や吸入しないよう保護具を着用すること。

環境に対する注意事項：魚毒性を有するので、井戸、池、河川など水系に大量に流出した場合は、直ちに警察または保健所に届け出る。

除去方法：1. 液体の漏れについては、オガクズ、土砂等の適当な吸収材で直ちに吸着させる。その後、汚染した個所を洗剤と水でよく洗浄する。使用した吸収材、洗浄水はすべて密閉できる容器に回収する。

2. 可燃性ガスの漏れについては、付近の着火源となるものを速やかに取り除き、漏洩したガスが滞留しないように注意しながら、水噴霧またはスチームによって拡散させ、着火、爆発を防止する。

3. 措置は保護衣、帽子、保護メガネ、防毒マスク、ゴム手袋、保護靴等の保護具を着用して行う。

2次災害の防止策：1. 火災を誘発する恐れがあるので、「火気厳禁」の表示など火災防止の措置をすること。

2. ガス、液体とも引火性があるので、着火しないよう注意すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（取扱い者の暴露防止、火災・爆発の防止など：大量の取扱いの場合）

1. 法（消防法）の基準に従った取扱いを行うこと。
2. 危険物の指定数量（アルコール類は400L、製品に換算すると111ケース）以上の貯蔵および取扱いについては、危険物関係法令に定められる貯蔵、取扱いの技術基準に従うこと。
3. 指定数量の1/5を超える危険物の貯蔵および取扱いについては、市町村の火災予防条例に定められる貯蔵、取扱いの技術基準に従うこと。
4. 消防活動阻害物質の数量（LPGは300kg、製品に換算すると102ケース）以上を貯蔵または取り扱う場合は、あらかじめ所轄の消防署長に届け出ること。
5. 危険物を貯蔵する場合の容器（ダンボール箱）の積み重ね高さは、3m以下とすること。
6. 火気、火花若しくは高温体との接近、過熱を、避けること。
7. 容器（ダンボール箱）を転倒させ、落下させ、衝撃を加えるなどの乱暴な取扱いをしないこと。

技術的対策（製品の使用方法）

1. 定められた使用方法を必ず守り、使いすぎない。
2. 虫体に直接噴霧するか、発生場所や通路に噴霧する。
3. 床下に処理する場合は、床下換気口から床下全体に広がるよう1坪あたり3,4秒噴射する。1本で15坪（約50m²）処理できる。（効果は約3ヶ月持続（条件により異なる））
4. 床下換気口、隙間、割れ目に処理する場合は、付属のすき間ノズルを噴射口に差し込んで使用する。
※差し込み方が不十分だと、使用中にノズルが外れることがあるのでしっかりと差し込む。
5. 効果は使用状況、噴霧する材質により異なる。
6. シロアリ、ハネアリ、アリ、キクイムシ、ダンゴムシ、ワラジムシ、ゲジ、ヤスデ、ムカデの駆除に使用する。

注意事項（製品の使用時の注意）

1. 体に異常を感じたときは使用を中止し、直ちに本剤の有効成分を医師に告げ、診療を受ける。
2. 眼に入らないよう注意し、入った場合には直ちに充分水洗いし、眼科医の手当を受ける。
3. 皮膚につかないよう注意し、ついた場合には直ちに石けんで充分洗う。
4. 室内で使用する場合は、噴霧中や処理後は十分換気する。
5. 人体に向かって噴射しない。噴霧を直接吸入しない。
6. すき間ノズルを脱着する際、先端を人に向けられないよう注意する。
7. 飲食物、食器、おもちゃ、飼料、自動車、漆喰、石材、塗装面、プラスチックなどに噴霧がかからないように注意する。
8. アレルギー症状やカブレなどを起こしやすい体質の人、妊婦などは、薬剤に触れないように注意する。
9. 植物、金魚、熱帯魚、小鳥などのペット類に噴霧がかからないように注意する。本剤は魚毒性があるので、魚類には注意する。
10. 炎や火気の近くで使用しないこと。
11. 火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
12. 火の中に入れないこと。
13. 使い切って捨てること。

安全取扱い注意事項

1. 火気、火花若しくは高温体との接近、過熱を、避けること。

保 管**適切な保管条件（大量保管の場合）**

1. 法（消防法）の基準に従った貯蔵を行うこと。
2. 危険物の指定数量（アルコール類は400L、製品に換算すると111ケース）以上の貯蔵および取扱いについては、危険物関係法令に定められる貯蔵、取扱いの技術基準に従うこと。
3. 指定数量の1/5を超える危険物の貯蔵および取扱いについては、市町村の火災予防条例に定められる貯蔵、取扱いの技術基準に従うこと。
4. 消防活動阻害物質の数量（LPGは300kg、製品に換算すると102ケース）以上を貯蔵または取り扱う場合は、あらかじめ所轄の消防署長に届け出ること。
5. 危険物を貯蔵する場合の容器（ダンボール箱）の積み重ね高さは、3m以下とすること。
6. 火気、火花若しくは高温体との接近、過熱を、避けること。

適切な保管条件（家庭などでの保管の場合）

1. 飲食物、食器などと区別し、子供の手の届かない場所に保管する。
2. 火気や直射日光を避け、温度の低い場所に保管する。引火・爆発のおそれがあります。
3. 水回りや湿気の多い場所に置かない。缶が錆びてガス漏れや破裂のおそれがあります。
4. 暖房器具（ファンヒーターなど）の周囲と高温になる場所、車内は温度が上がり、破裂する危険があるので置かない。
5. 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気の近くなど温度が40度以上となる所に置かないこと。

安全な容器包装材料

該当しない

8. 暴露防止及び保護措置

許 容 濃 度：A C G I H (T L V) …エタノール 1000ppm
L P G 1000ppm

保 護 具：通常の取扱いでは必要ないが、中身が漏れたり、火災時、あるいは大量廃棄の場合は保護具を着用すること。

呼 吸 器 の 保 護 具…防毒マスク（有機溶剤用）

手 の 保 護 具 …ゴム手袋

目 の 保 護 具 …保護メガネ

皮膚及び身体の保護具…長ズボン、長袖の作業着、作業帽、保護靴等

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

外 観、性 状: ガスを除いた液は、無色～微黄色の澄明な液。

臭 い: ガスを除いた液は、特異なおいがある。

p H: 不明

物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲：エタノール 沸点78℃

引 火 点：L P G -104.4～-73.8℃ エタノール 13℃

発 火 点：L P G 405～550℃ エタノール 439℃

爆 発 特 性：L P G 1.8～9.5% エタノール 3.3～19.0%

蒸 気 圧：L P G 1.275～0.278MPa (40℃) エタノール 5.9kPa (20℃)

蒸 気 密 度：L P G 1.58～2.12 エタノール 1.59

密 度：ガスを除いた液は、0.760 (20℃)

溶媒に対する溶解性：ガスを除いた液は、有機溶剤に溶解する。

水に対する溶解度：ガスを除いた液に水を加えると、一部の液が油状に分離するが、ほとんどの液が混和する。

10. 安定性及び反応性

安 定 性：自然条件下で安定

高温下でエアゾール缶が破裂する。

水回りや高湿な場所に保管すると、缶が錆びてガスや原液が漏れる。

反 応 性：

避けるべき条件：高温、高湿度

危険有害な分解生成物：薬剤が燃焼すると有毒なガスが発生する。

11. 有害性情報

急 性 毒 性：

トラロメトリン25%：

急性経口 LD₅₀ ラット ♂510 ♀455 (mg/kg)

急性経皮 LD₅₀ ラット ♂♀>5,000 (mg/kg)

エムペントリン：

急性経口 LD₅₀ ラット ♂>5,000 ♀>3,500 (mg/kg)

急性経皮 LD₅₀ ラット ♂♀>5,000 (mg/kg)

急性吸入 LC₅₀ ラット ♂♀>1,010 (mg/m³ 4時間全身暴露)

シプロコナゾール：

急性経口 LD₅₀ ラット 1,020 (mg/kg)

急性経皮 LD₅₀ ウサギ >2,000 (mg/kg)

エタノール：経口最小中毒量 ヒト 50 (mg/kg)

経口致死量 成人 5～6 (g/kg)

乳小児 3 (g/kg)

L P G：急性吸入 ヒト 10,000ppm/短期曝露—なんら症状なし

ヒト 100,000ppm/短期曝露—数分吸入後にめまい

局 所 効 果：

トラロメトリン25%： 刺激性 うさぎ 皮膚—あり 眼—あり

エムペントリン	： 刺激性	うさぎ	皮膚－なし	眼－なし
シプロコナゾール	： 刺激性	うさぎ	皮膚－なし	眼－なし
エタノール	： 刺激性	皮膚－	中程度の刺激性あり	眼－弱い刺激性あり
L P G	： 刺激性	ヒト	皮膚－あり	眼－あり
	麻酔性	ヒト	若干の麻酔性あり	

感 作 性：

トラロメトリン：モルモット なし

変異原性、催奇形性：

トラロメトリン 変異原性 なし

12. 環境影響情報**生 態 毒 性：** 魚毒性は以下の通り

トラロメトリン	コイ	TLm ₄₈	0.008ppm
エムペントリン	コイ	LC ₅₀	0.07ppm 96hr
シプロコナゾール		LC ₅₀	19mg/l 96hr

13. 廃棄上の注意

1. 少量廃棄の場合は、火気のない戸外でボタンを押して使いきったことを確認し、キャップはプラスチックごみ、容器は空缶として捨てる。
2. 大量に廃棄する場合は、着火源となる火気や静電気の発生を防止した処理設備で、防爆構造の破砕機等を使用し、排出された可燃性ガスが爆発濃度に達しないよう措置を講じて行う。回収される液体は危険物のため、消防法等の基準に従って適切に取り扱い、廃ガス処理設備のついた焼却炉で焼却する。

14. 輸送上の注意**国連分類・番号：** クラス2（高圧ガス：引火性ガスおよび引火性液体を含む）・1950**国 内 規 制：**

消 防 法：消防法 第4類 アルコール類 危険等級2

高圧ガス保安法：可燃性ガス

船 舶 安 全 法：引火性高圧ガス エアゾール 積載方法A,3

航 空 法：液化ガス 引火性エアゾール（毒物、腐食性物質又は毒性ガスを含まないもの）

輸送の特定の安全対策及び条件：

1. 高温にすると破裂する危険があるため、直射日光の当たる所や火気の近くなど、温度が40度以上となる場所には置かないこと。
2. 可燃性ガスおよび引火性液体を含有しているので、「火気厳禁」
3. 容器の破損、漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み荷くずれの防止を確実にすること。
4. 車両・船舶にはゴム手袋、マスク等の保護具を備えるほか、異常時の処置に必要な消火器、工具などを備えておく。

15. 適用法令

消防法 第4類 アルコール類 （400L）

届出物質（L P G）（300kg）

高圧ガス保安法：可燃性ガス

船舶安全法：別表第2（高圧ガス）

航空法：別表第2（高圧ガス）

労働安全衛生法（エタノール 57条の2第1項通知対称物）

16. その他の情報

上記資料の出典：トラロメトリン25% MSDS

エムペントリン MSDS

シプロコナゾール MSDS

エタノール MSDS

LPG MSDS

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関してはいかなる保証をなすものでもありません。また、注意事項は通常取扱を対象としたものです。この製品安全データシートは法令の改正、新しい知見にもとづいて改訂されることがあります。